会議録【要点筆記】

会議名称	令和5年度第2回米沢市地域公共交通活性化協議会	
開催日時	令和5年11月2日(木) 午後2時00分～午後3時15分	
開催場所	米沢市役所 3階 301会議室	
出席者	(委員等氏名)	(所属団体等)
	会長 大河原 真樹	米沢市 副市長
	委員 安孫子 幸一	山形県置賜総合支庁 総務課連携支援室長
	委員 阿部 好弘	山形県立米沢東高等学校 校長
	(代理出席 安部 昌記)	
	委員 有路 仙之	東北運輸局山形運輸支局 山形運輸支局長
	(代理出席 角張 英恵)	
	委員 今村 元一	米沢地区ハイヤー協議会 会長
	委員 金子 明夫	米沢市立西部小学校 校長
	委員 黒須 敬子	公募委員
	委員 小山 雄司	山形県置賜総合支庁 道路計画課長
	(代理出席 鷺尾 仁)	
	委員 鈴木 新一	米沢市地区委員会 副委員長
	委員 鈴木 正幸	山交バス株式会社米沢営業所 所長
	委員 高澤 由美	山形大学 准教授
	委員 桃井 義典	米沢警察署 署長
	(代理出席 阿部 貴宏)	
	委員 山川 良雄	公募委員
	委員 山田 記子	米沢市身体障がい者福祉協会 婦人部会 米沢市身体障がい者相談員
	委員 我妻 康次	米沢市コミュニティセンター館長会 会長
	委員 渡辺 博幸	山形県公立大学法人 事務局長
欠席者	(委員等氏名)	(所属団体等)
	副会長 安部 徹	米沢商工会議所 専務理事
	委員 入間川 悟	東日本旅客鉄道株式会社 米沢駅 駅長
	委員 植野 みどり	公募委員
	委員 長内 真	山形河川国道事務所 米沢国道維持出張所長
	委員 河田 亜依	山形大学工学部 学生
	委員 濱田 好花	米沢栄養大学 学生
事務局出席者	企画調整部長、地域振興課長、地域振興課長補佐、地域振興主査、地域振興課主任(地域振興担当)、地域振興課主事(地域振興担当)	
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 協議</p> <p>(1) (仮称) 学園都市線の運行経路とダイヤについて</p> <p>(2) 万世線の八幡原工業団地経由ルート追加について</p> <p>(3) 南原地区及び三沢地区のりあいタクシー運行について</p> <p>(4) 山交バス白布線、小野川線の統合について</p> <p>(5) 上杉城史苑駐車場へのバスの乗り入れについて</p> <p>(6) 公共交通見直しの周知方法について</p> <p>(7) 市街地循環路線(右回り・左回り)見直しについて</p> <p>3 報告</p> <p>市立病院新設に伴うバス停の移動等について</p>	

	4 その他 5 閉会
会議資料	議事次第・委員名簿 資料1 (仮称) 学園都市線の運行経路とダイヤについて 資料2 万世線の八幡原工業団地経由ルート追加について 資料3 南原地区及び三沢地区のりあいタクシー運行について 資料4 山交バス白布線、小野川線の統合について 資料5 上杉城史苑駐車場へのバスの乗り入れについて 資料6 公共交通見直しの周知方法について 資料7 市街地循環路線(右回り・左回り)見直しについて 資料8 市立病院新設に伴うバス停の移動等について
会議内容	
<p>【1 省略】</p> <p>【2 協議】</p> <p>(1) (仮称) 学園都市線の運行経路とダイヤについて(事務局が資料1により説明) 事務局から説明があり、質疑応答は以下のとおり。</p> <p>委員：学園都市線になり市役所前を通過しないことになるのか。</p> <p>事務局：学園都市線は需要調査の結果を踏まえて、商業施設前を通るルートを検討した。</p> <p>既存の南回り線では市役所前を通過しているが、学園都市線のルートに市役所前も含めるとハンドル時間が長くなってしまうため難しい。今後も利用状況を確認しながらルートの検討をしていく。</p> <p>委員：変更は今年の冬からなのか。</p> <p>鉄道との接続も想定しているとのことだが、イオン前のルートを通することで道路の渋滞が想定されるが、どのように考えているか。</p> <p>事務局：来年の四月からの運行開始を予定している。</p> <p>鉄道との接続に関しては駅到着から10~20分程度の時間を見ている。大幅な遅延があれば間に合わないこともあると思うが、ダイヤ上は接続できる時刻としている。</p> <p>委員：Bルートに書かれている青い線はすでに走っている路線なのか、それとも新たに設定するルートなのか。</p> <p>事務局：青いルートについては、基本ルートに付け加えるルートである。赤いルートは全てのパターンで通る基本ルートとなっている。</p> <p>委員：青いルートは現在運行している他の系統で走ってはいないのか。</p> <p>事務局：福田町等は現行の南回り線でも運行している。市立病院・三友堂病院前への乗り入れ部分は新しい経路となっている。</p> <p>委員：各便でルートが違うのか。</p> <p>便毎に分かりやすくしておかないと利用するときには不便ではないか。</p> <p>事務局：全ての便でルートが異なるわけではなく、11便を6パターンのルートで運行する。</p> <p>委員：新設されるバス停はあるのか。</p> <p>事務局：芳泉町、興譲館高校前、太田町4丁目、徳町西、成島ヨークタウン前、成島1丁目の6か所を予定している。</p> <p>委員：バス停の新設について、道路管理者との事前協議は済んでいるのか。</p> <p>事務局：現在調整中。現在周辺民地の方への説明を行っている。</p> <p>委員：いずれ交通管理者の警察ともバス停の新設について協議が必要になってくる</p>	

と思う。

委員：様々な事情を考慮したダイヤ変更になっているが、その分ダイヤが複雑になっていると思う。学生にどう周知するのか。

グーグルのデータベースに登録する予定はあるのか。

事務局：新しいバス路線について周知用のパンフレットを作成予定なので学生にも配布する。

グーグルのデータベースについては、すでに県内全域のバス会社に変更に応じてGTFSデータを更新している。今回の変更も更新する。

委員：実際に運行してみて、使い勝手を良くしてほしいという要望があれば反映してもらえるか。

事務局：利用者の声を聞きながら使いやすいものへとしていきたい。ICカード導入によって乗降データを取得できるので、そちらも参考にしていきたい。

(2) 万世線の八幡原工業団地経由ルート追加について（事務局が資料2により説明）
委員からの意見質問なし。

(3) 南原地区及び三沢地区のりあいタクシー運行について（事務局が資料3により説明）

委員からの意見質問なし。

(4) 山交バス白布線、小野川線の統合について（事務局が資料4により説明）
事務局から説明があり、質疑応答は以下のとおり。

委員：米沢駅から湯元駅までの所要時間は変わるのか。また、料金はどのようになるのか。

事務局：現在よりは10分程度所要時間は伸びるが、1時間程度と考えている。

料金については、現在山交バスと調整しており、現在の白布線と同程度になるように考えていただいている。

(5) 上杉城史苑駐車場へのバスの乗り入れについて（事務局が資料5により説明）
委員からの意見質問なし。

(6) 公共交通見直しの周知方法について（事務局が資料6により説明）

事務局から説明があり、質疑応答は以下のとおり。

委員：学園都市線について、各ルートがどこを経由するのか分かりやすくバス停に示した方が良いと思う。

会長：学園都市線は複雑になるので、事務局から丁寧な周知をお願いしたい。

委員：電車やバスが遅延して予定していたバスに乗れなかった際に駅構内で乗るべきバスをアナウンスすることが良いのではないか。

分かりやすい路線図を駅構内で配布することや、SNSで周知することが良いのではないか。

事務局：遅延等に合わせてその都度表示するようなシステムはあるが、費用がかかり導入が難しい。駅構内に分かりやすい路線図等を示し、時刻表等を確認していただくことで対応したい。

経路については、次年度他のバス路線の見直しを検討しているので、最終的に確定した段階で米沢駅に全てのバスルートを貼りだそうと考えている。

委員：どれだけ周知しても乗る側に知ろうとする意志が無ければ伝わらない。

可能であれば次年度の早い時期に1日乗車無料の日を設ける等、乗車を促すようなイベントを行う事で情報も入っていきやすくなると思うが、そのような検討はしているか。

事務局：そこまでの検討は行っていなかった。そのようなイベントはバス利用の動機付けにもなるので検討していきたい。

(7) 市街地循環路線（右回り・左回り）見直しについて（事務局が資料7により説明）
委員からの意見質問なし

【3 報告】

市立病院新設に伴うバス停の移動等について（事務局が資料8により説明）

事務局から説明があり、質疑応答は以下のとおり。

委員：この変更によるキロ程の変更はどのくらいか。10%以上であれば県の協議会で諮る必要がある。

事務局：500m短くなる程度なので、10%未満に収まっている。

委員：その場合でも、変更の届出は必要になるかと思うので、県に確認していただきたい。

【4 その他】

質疑応答は以下のとおり。

委員：城史苑乗入れや白布小野川両温泉を結ぶルートが出来るが、城史苑に観光面での周知看板を設置する計画はあるか。

事務局：城史苑での乗り入れについては、バス停車位置へ時刻表などの案内看板設置予定。既存バス停位置についても、バス停位置の変更案内を表示する。

委員：観光地として分かりやすい案内にして欲しい。

全国的に運転手不足だが、今後について交通事業者と相談しているのか。

事務局：路線の統合とのりあい地域のエリア拡大については、山交バス、ハイヤー協議会と話をしながら進めている。

運転手不足で業務拡大が難しい状況ではあるので、運行事業者とはこまめに調整をしながら進めていきたい。

委員：グーグルへのデータ提供について、目的地と出発地を入力すれば最短最安のルートが表示されるようになるという認識で間違いないか。

事務局：間違いない。ただし、手作業で更新をしなければ古い情報のままとってしまうのでダイヤ改正があれば対応が必要。

【4 閉会】